

労働問題解決の鍵

▼信友會は印刷工の労働組合なり▲

労働問題の喧傳せらるゝこと今日の如く、労働運動の議論せらるゝこと近時の如きはない。實に労働は一世の流行で、日本の労働者は、恰かも天下を取つて居るが如き觀がある。けれど、労働問題解決の鍵論であり、労働運動の根本基調をなすべき當の労働組合が、今日わが國に、果してそれだけの發達を見て居るか。

特にわが印刷業だけに就て云ふも、若し同工諸君が充分なる労働組合を組織して居たならば、八時間制問題の同盟罷工は、印刷同業組合の爲にムザムザ敗られはしなかつたでせう。東京各新聞社職工の總同盟罷

工は、社主側の聯合の爲に、ア、まで慷慨たる敗北は招かなかつたでせう。又もし日本全國の労働者が、悉く一定の労働組合を組織して居たならば、國際労働會議の代表者選出の如き問題は、もつと容易、迅速、満足に解決されて居たでせう。罷工の失敗は必ずしも恐るゝに足らない、けれど、恐れても尙畏れなければならぬのは、労働者の團結の缺如、労働組合の組織の不備である。

労働組合の目的とは何ですか、それは労働者の境遇の改善と云ふ事だ。労働組合の性質とは何ですか、それは労働者獨立の宣言と云ふ事だ。労働者は、労働組合を組織して、團體的交渉に依て共通の規則を、雇主に強制せざる限り、その生活標準を維持すべき條件を得る事は出来ない。労働者は、労働組合を組織して、團體的勢力に依て雇主と對等の位置に